

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会 くらしの植物苑東屋 13:30 から

第118回 1月24日(土)『武蔵野の平地林と保全』 犬井 正 (独協大学)

第119回 2月24日(土)『ブナの林と木地屋の世界』 中川重年 (本館客員教授)

今週のみどころ・植物苑だより <http://www.rekihaku.ac.jp>

冬の華・サザンカ

2月1日まで



勘次郎

カンツバキ群

実生 (種子を蒔くこと) ではこんなに違います



おもかげ

ハルサザンカ群



絞笑顔

ハルサザンカ群



奥山桃の実生A



奥山桃の実生B



奥山桃の実生C

侘助

ツバキの品種の中でも茶花として特別の人気があります。花は早咲きで独特の花形で小輪です。



アブラナ科

アブラナ科には有用植物がたくさん含まれます。今が旬のダイコン、カブ、ハクサイ、チンゲンサイ、ブロッコリーなどが含まれます。アブラナ科の花の特徴はガク片が内外2枚ずつ計4枚、花弁は4枚、雄しべで外側の2本は短く、内側の4本は長く、四強雄ずい（しきょうゆうずい）と呼ばれます。子房は中央に薄い膜で2室に仕切られています。種子が熟すと、膜を残して反り返り、種子は隔壁についたまま開きます。これはアブラナ科に独特で、細長いものを長角果、短いものを短角果といいます。



ナバナ（アブラナ属）

シソ科

シソ科にも有用植物がたくさんありますが、多くのものは、香辛料や薬味に使われます、シソ、ミント、ハッカ、セージ、タイムなどがあります。シソ科の花は唇のような形の唇形花（しんけいか）をつけます。花びらが筒状になった合弁花冠で2つの部分に分かれて唇のように見え、上唇（じょうしん）、下唇（かしん）と呼びます。シソ科のもう1つの特徴は茎が四角形をしていることです。



ホトケノザ（オドリコソウ属）

ホトケノザには普通の花はすくなく、まったく花を咲かせない閉じたままの花があります。花を開かないまま自花受粉をし、結実するもののほうが多く、それらは閉鎖花（へいさか）と呼ばれます。

木の文化 「フナ」の林と木地屋の世界」

2月10日(火)から3月29日(日)まで
季節の伝統植物 「伝統の桜草」

4月21日(火)から5月10日(日)まで